

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5520m 付近のトラフが北日本を北上。日本海北部の低気圧から北海道付近のびるシアーライン近傍では1時間に5ミリの降水を観測。
- ② 華南～南西諸島にのびる前線上の東シナ海に低気圧が発生。低気圧や前線に向かう大陸からの下層暖湿気と南鳥島近海に中心を持つ高気圧の縁を回る下層暖湿気の影響で、南西諸島では対流雲が発達。雷を伴い非常に激しい雨を観測、メソサイクロンを検出。低気圧や前線の近傍ではやや強い風が吹いている所がある。
- ③ 衛星画像では、日本海～東北地方に黄砂が確認できる。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

- ① 1項①のトラフは18日夜にかけてオホーツク海へ進み、対応する低気圧は不明瞭になるが、北海道地方には18日は500hPaで -21°C 以下の寒気が流入し、大気の状態が不安定となる。落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。また、やや強い風の吹く所がある。強風にも注意。
- ② 1項②の前線は、18日昼頃にかけて南西諸島を通過する。前線に向かう下層暖湿気の影響で、南西諸島では大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 黄海にある500hPa5640m付近で -18°C 以下の寒気を伴うトラフが、18日は深まりながら西日本～東日本を通過。このトラフに対応し1項②の前線上の低気圧が発達しながら18日夜には伊豆諸島付近を通過、19日朝までに50kt[SW級]に発達して日本の東を北東進する。低気圧に向かう下層暖湿気の影響で伊豆諸島では大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨が降り、大雨となる所がある。また、東日本でも上空の寒気や湿った空気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。落雷や突風に注意。
- ④ 2項②の前線や低気圧の影響で気圧の傾きが大きくなり、南西諸島～西日本では18日は、東日本では19日にかけて、北日本では19日は、強い風が吹き、波が高くなる所がある。強風や高波に注意。
- ⑤ 北日本を中心に850hPaの気温が平年に比べ 5°C 以上高い状態が続く。北～東日本の多雪地では、こしばらく融雪やなだれに注意。
- ⑥ 西～北日本では、18日は広い範囲で黄砂の飛来が予想され、視程5km未満となる所がある見込み。視程悪化に伴う交通障害などに注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSM基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ### 4. 防災関連事項 [量的予報と根拠]
- ①大雨ポテンシャル(06時からの24時間)：高い所(100mm以上)はない。
 - ②波浪(明日まで)：伊豆諸島4m。

- ### 5. 全般気象情報発表の有無
- 発表の予定はない。